

令和2年度 「コミュニティと協働」意識調査 集計結果

■ 対象者数	3,053 人
■ 有効回答者数	2,423 人
┌ 庁内ネットワークによる回答	2,219 人
└ 書面による回答	204 人
■ 回答率	79.4 %

高松市 市民政策局 地域政策部 コミュニティ推進課

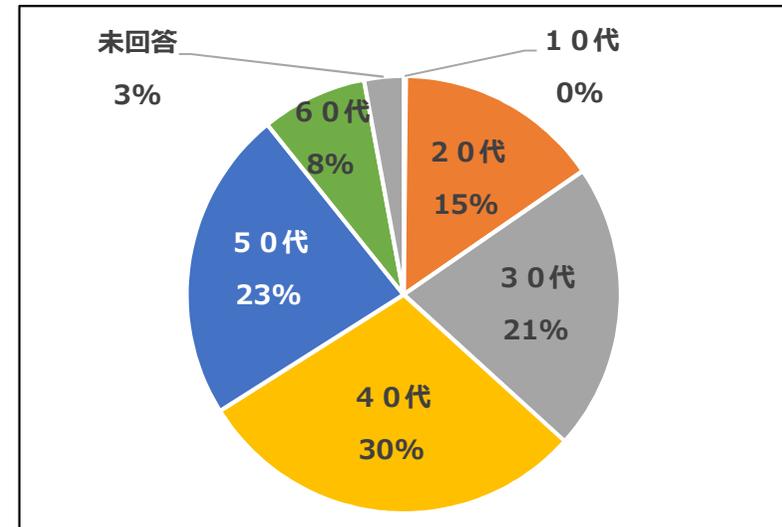
Q1	所属局（R3.2.1時点）を選択してください。
----	-------------------------

※回答省略

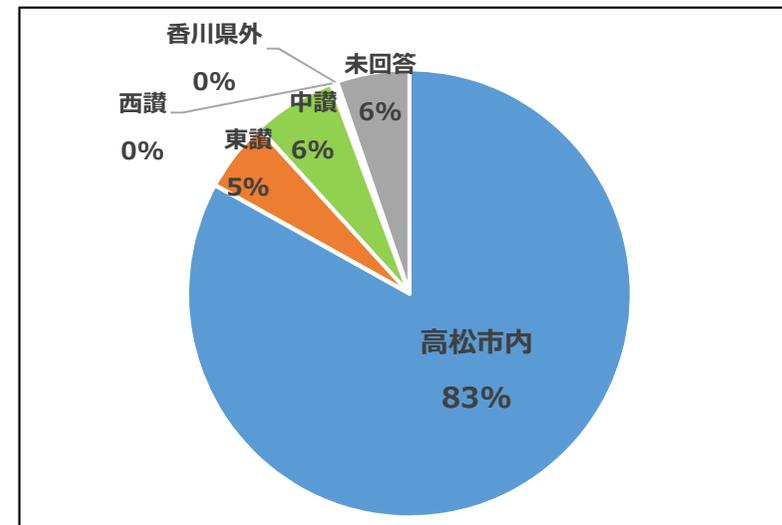
Q2	所属課（R3.2.1時点）を選択してください。
----	-------------------------

※回答省略

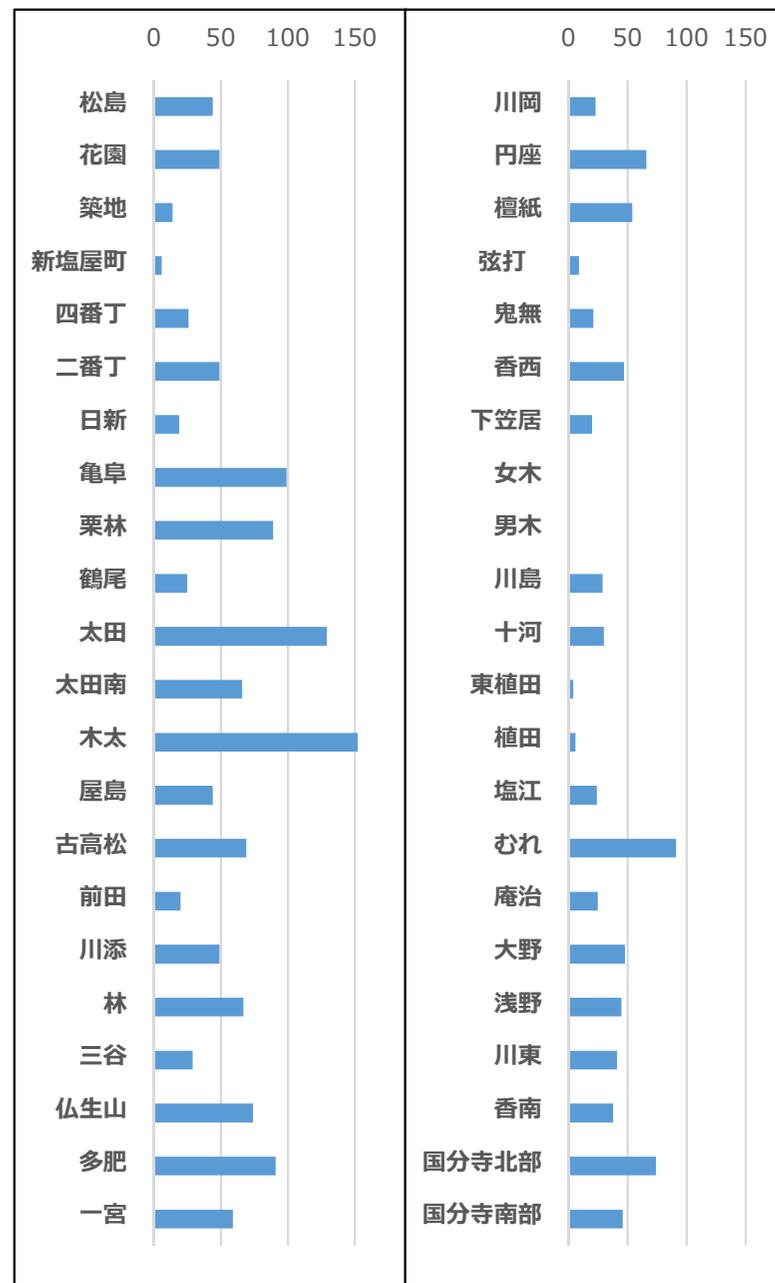
Q3	年齢を選択してください。		
選択肢		回答数	割合
10代		4	0.17%
20代		370	15.27%
30代		515	21.25%
40代		712	29.39%
50代		560	23.11%
60代		191	7.88%
未回答		71	2.93%
総計		2,423	100.00%



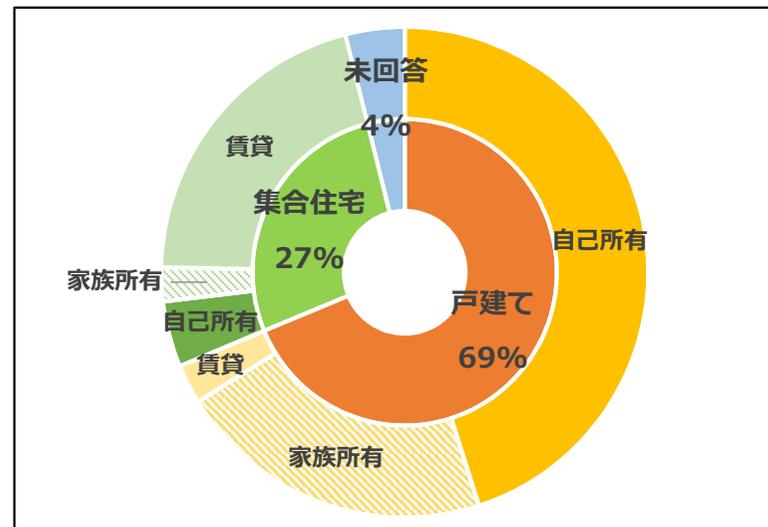
Q4	現在お住まいの地区を選択してください。		
選択肢		回答数	割合
高松市内		2,012	83.04%
高松市外（東讃）		125	5.16%
高松市外（中讃）		147	6.07%
高松市外（西讃）		5	0.21%
香川県外		6	0.25%
未回答		128	5.27%
総計		2,423	100.00%



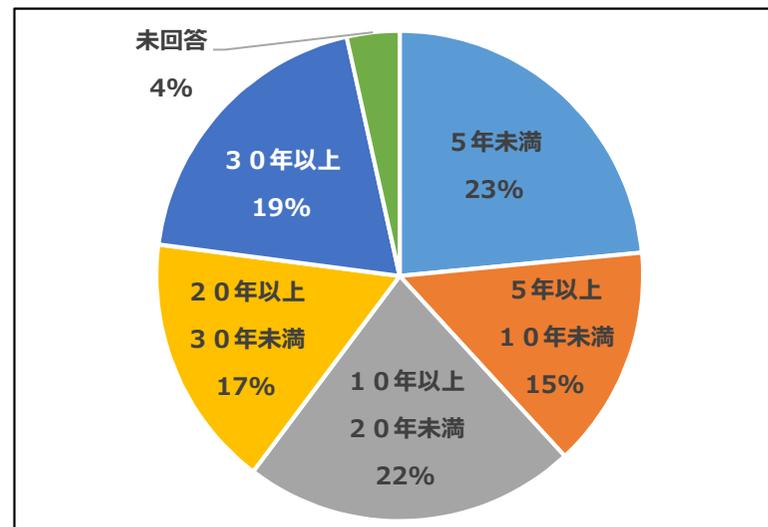
Q4	現在お住まいの地区を選択してください。 【高松市内内訳】				
選択肢	回答数	割合	選択肢	回答数	割合
松島	44	2.19%	川岡	23	1.14%
花園	49	2.44%	円座	66	3.28%
築地	14	0.70%	檀紙	54	2.68%
新塩屋町	6	0.30%	弦打	9	0.45%
四番丁	26	1.29%	鬼無	21	1.04%
二番丁	49	2.44%	香西	47	2.34%
日新	19	0.94%	下笠居	20	0.99%
亀阜	99	4.92%	女木	0	0.00%
栗林	89	4.42%	男木	0	0.00%
鶴尾	25	1.24%	川島	29	1.44%
太田	129	6.41%	十河	30	1.49%
太田南	66	3.28%	東植田	4	0.20%
木太	154	7.65%	植田	6	0.30%
屋島	44	2.19%	塩江	24	1.19%
古高松	69	3.43%	むれ	91	4.52%
前田	20	0.99%	庵治	25	1.24%
川添	49	2.44%	大野	48	2.39%
林	67	3.33%	浅野	45	2.24%
三谷	29	1.44%	川東	41	2.04%
仏生山	74	3.68%	香南	38	1.89%
多肥	91	4.52%	国分寺北部	74	3.68%
一宮	59	2.93%	国分寺南部	46	2.29%
高松市内合計				2,012	100.00%



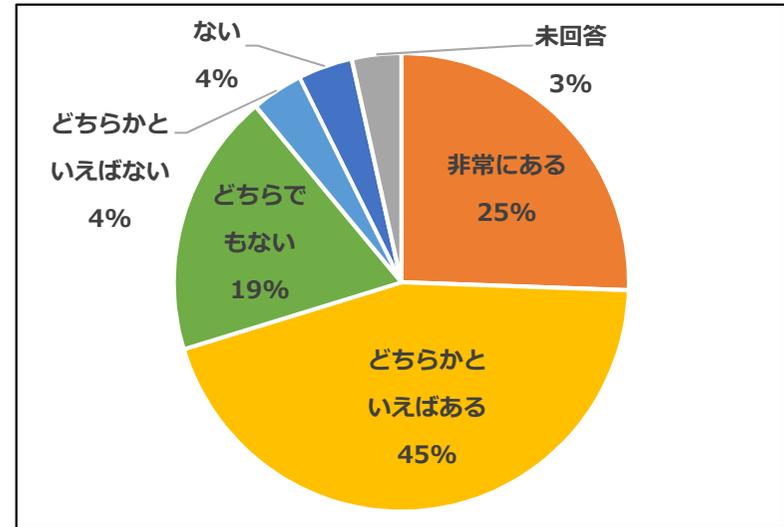
Q5	現在お住まいの住宅の形状を選択してください。		
選択肢	回答数	割合	
戸建て（自己所有）	1,092	45.07%	
戸建て（家族所有）	511	21.09%	
戸建て（賃貸）	63	2.60%	
集合住宅（自己所有）	105	4.33%	
集合住宅（家族所有）	54	2.23%	
集合住宅（賃貸）	503	20.76%	
未回答	95	3.92%	
総計	2,423	100.00%	



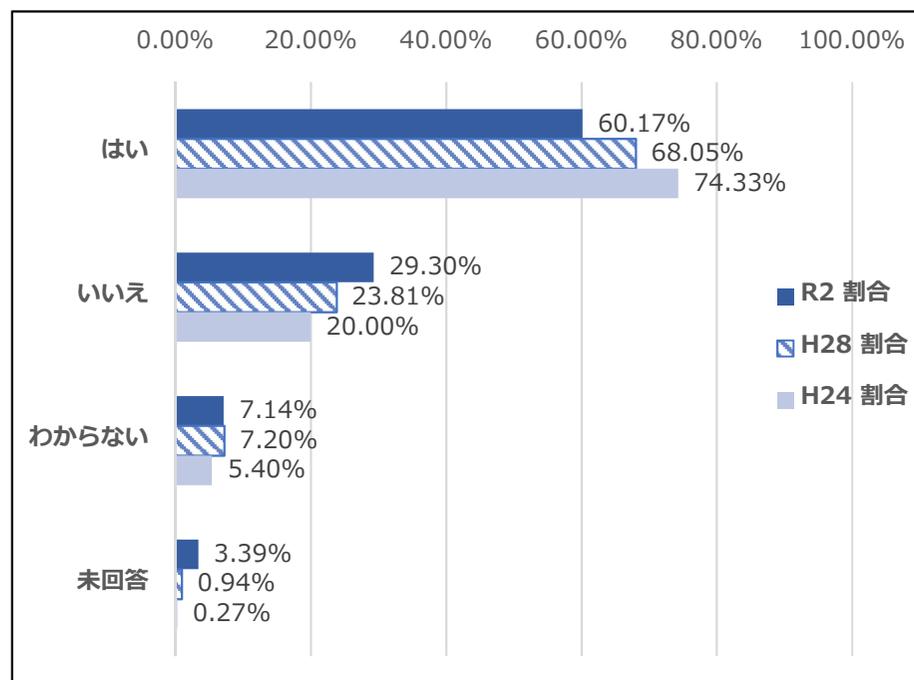
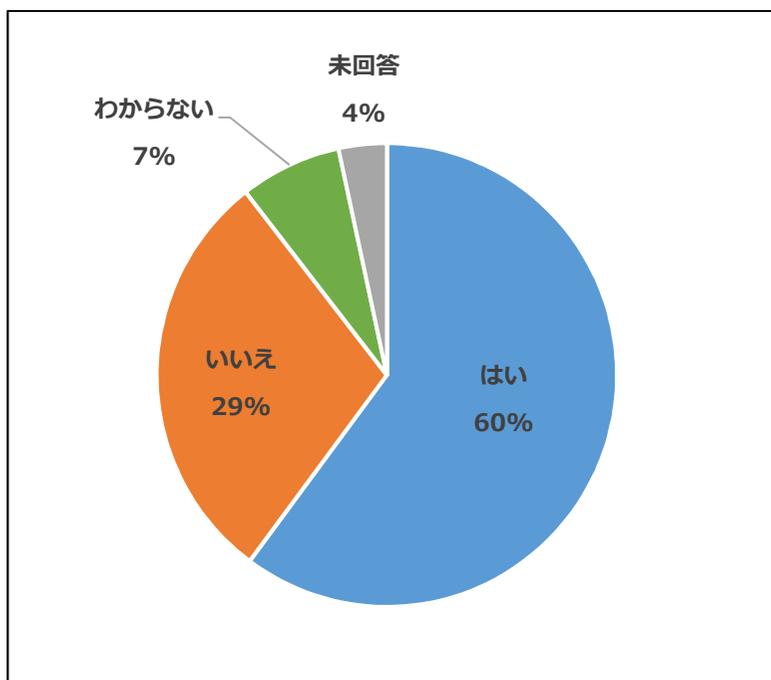
Q6	現在お住まいの地域での居住年数を選択してください。		
選択肢	回答数	割合	
5年未満	569	23.48%	
5年以上 10年未満	355	14.65%	
10年以上 20年未満	537	22.16%	
20年以上 30年未満	406	16.76%	
30年以上	471	19.44%	
未回答	85	3.51%	
総計	2,423	100.00%	



Q7	現在お住まいの地域への愛着はありますか？	
	選択肢	割合
	非常にある	25.55%
	どちらかといえばある	44.74%
	どちらでもない	18.65%
	どちらかといえばない	3.67%
	ない	3.88%
	未回答	3.51%
	総計	100.00%



Q8	あなたの世帯は自治会に加入していますか？		参考			
			H28年度		H24年度	
			回答数	割合	回答数	割合
はい	1,458	60.17%	2,164	68.05%	2,256	74.33%
いいえ	710	29.30%	757	23.81%	607	20.00%
わからない	173	7.14%	229	7.20%	164	5.40%
未回答	82	3.39%	30	0.94%	8	0.27%
総計	2,423	100.00%	3,180	100.00%	3,035	100.00%

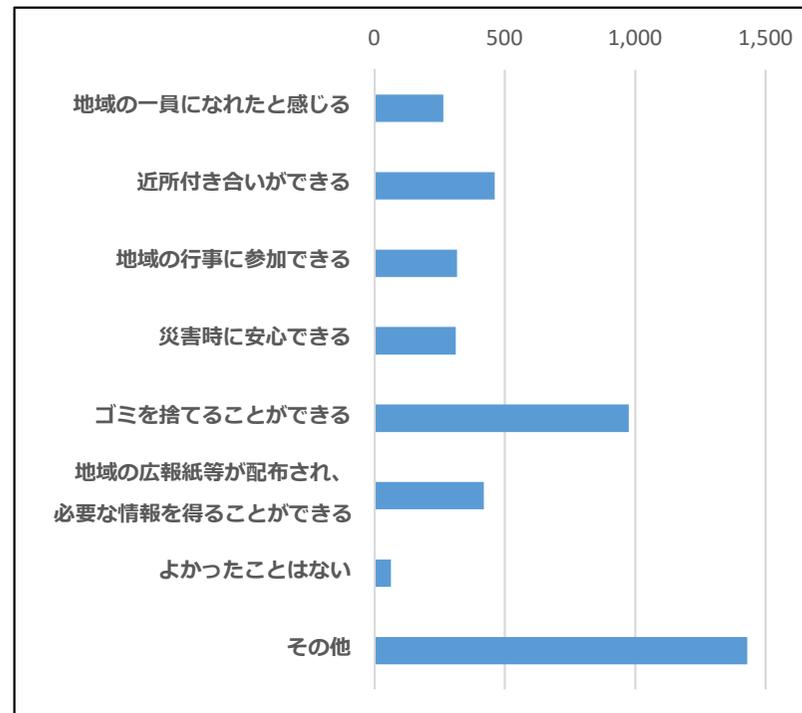


(複数選択可)

Q9	(自治会に加入している方) 加入してよかったことを選択してください。		
	選択肢	回答数	割合
	地域の一員になれたと感じる	265	6.24%
	近所付き合いができる	462	10.88%
	地域の行事に参加できる	317	7.46%
	災害時に安心できる	313	7.37%
	ゴミを捨てることができる	976	22.98%
	地域の広報紙等が配布され、必要な情報を得ることができる	420	9.89%
	よかったことはない	64	1.51%
	その他	1,430	33.67%
	総計	4,247	100.00%

(その他の内訳)

当たり前のことであり、よかったことの実感はない	499
親の代から(昔から)加入している	451
一斉清掃等の環境美化活動を通じて、快適な生活環境を維持できる	175
子どもがいるので、地域の一員になることがセーフティネットになっている	160
よかったことについて、考えたことがない	106
具体的な活動を知らない	24
防犯灯を設置できた	15

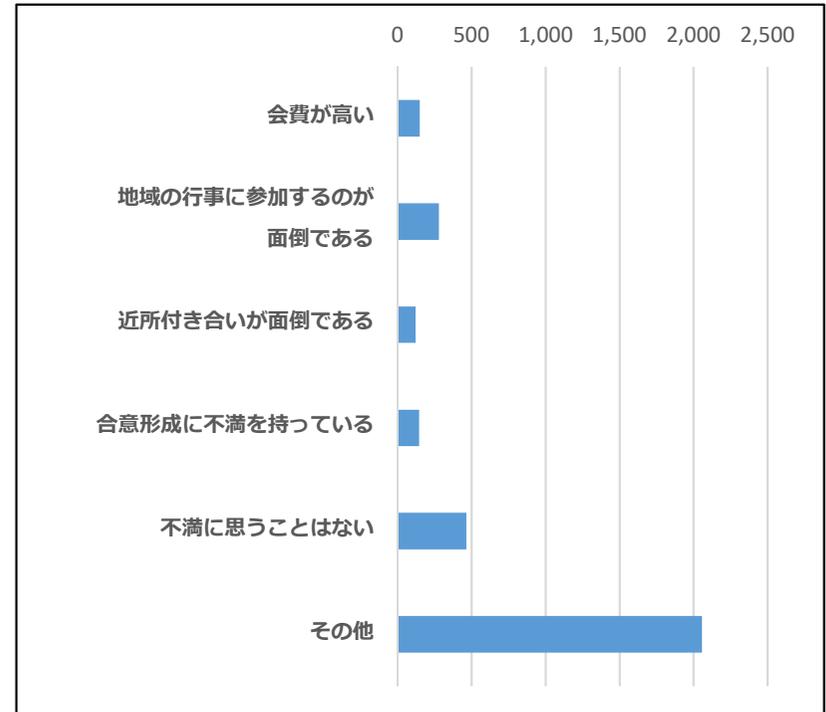


(複数選択可)

Q10	(自治会に加入している方) 加入していて不満に思うことを選択してください。	回答数	割合
	選択肢		
	会費が高い	151	4.69%
	地域の行事に参加するのが面倒である	279	8.66%
	近所付き合いが面倒である	122	3.79%
	合意形成に不満を持っている	145	4.50%
	不満に思うことはない	465	14.44%
	その他	2,058	63.91%
	総計	3,220	100.00%

(その他の内訳)

高齢化が進んでいる	536
当番(役員、神社関係等)をするのが面倒である	370
役員の選出が困難である	327
過去のしがらみがある	191
自治会に納める費用に不満がある	148
昔からの居住者が仕切っていて、考え方が古い	133
定期の寄合に出席するのが面倒である	96
加入している人としていない人との不公平感がある	62
利点がない	51
活動内容に不満がある	36
平日に行事が行われる等、若年層世帯への理解が少ない	29
参加行事もなく広報も全戸配布となったため、ゴミ捨て以外に意義がない	25
具体的な活動を知らない	25
地域活動は特になく、回覧板が回ってくるだけである	16
校区が2つあり、まとまりがない	9
自治会に入っているにも活動に参加しない人がいる	1
その他未記入等	3

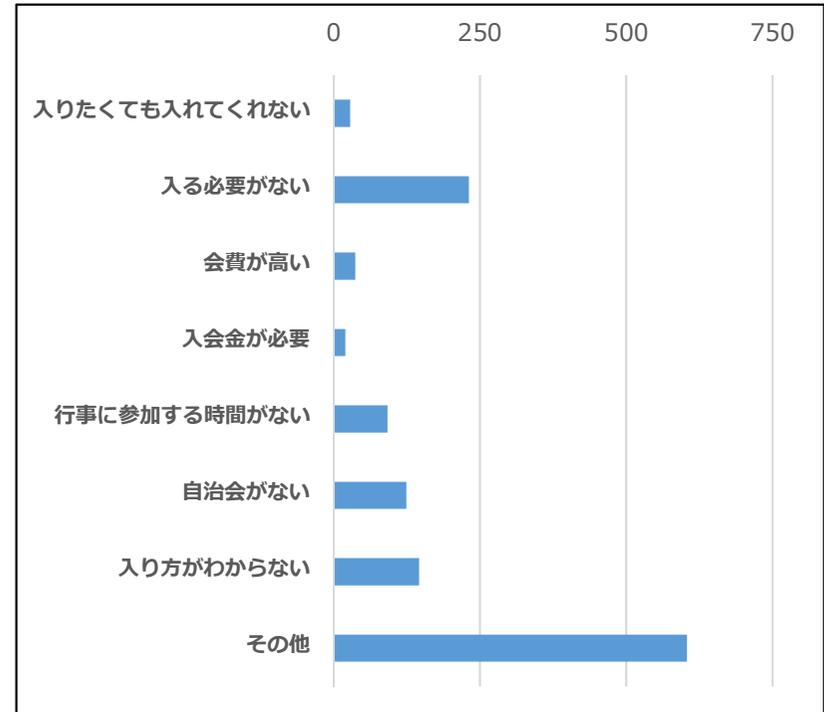


(複数選択可)

Q1 1	(自治会に加入していない方) 加入しない理由を選択してください。		
	選択肢	回答数	割合
	入りたくても入れてくれない	28	2.18%
	入る必要がない	231	18.02%
	会費が高い	37	2.89%
	入会金が必要	20	1.56%
	行事に参加する時間がない	92	7.18%
	自治会がない	124	9.67%
	入り方がわからない	146	11.39%
	その他	604	47.11%
	総計	1,282	100.00%

(その他の内訳)

自治会があるかどうかを知らない	158
マンションの管理組合に加入している	95
加入しなくてもゴミが捨てられる	90
どれくらいの期間居住するか決まっていない	51
自分以外(親、別棟の家族、大家等)が加入している	44
面倒である	39
役員等になった場合に活動できる時間がない	32
引越から時間が経ってしまい、入る機会を逃してしまった	29
団地・マンション内での取り決めによる	21
加入しなくても地域の行事に参加できる	18
別区域にある実家の自治会に加入している	15
トラブル等により脱会した	7
定年後に加入する予定である	2
行事等の負担が大きい	1
賃貸アパートのため	1

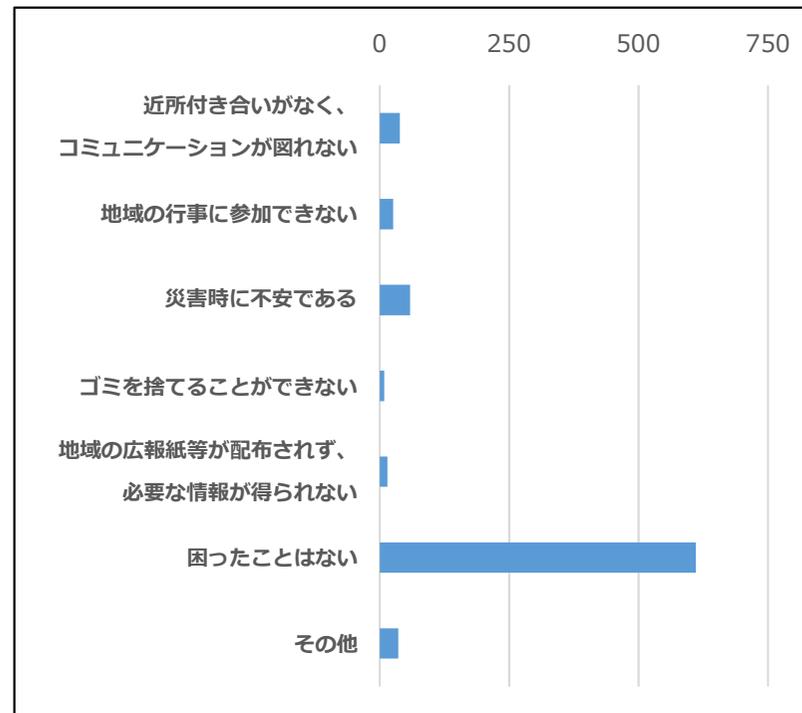


(複数選択可)

Q12	(自治会に加入していない方) 自治会に加入していないために困ったことを選択してください。		
	選択肢	回答数	割合
	近所付き合いがなく、コミュニケーションが図れない	39	4.91%
	地域の行事に参加できない	26	3.27%
	災害時に不安である	59	7.42%
	ゴミを捨てることができない	9	1.13%
	地域の広報紙等が配布されず、必要な情報が得られない	15	1.89%
	困ったことはない	611	76.86%
	その他	36	4.52%
	総計	795	100.00%

(その他の内訳)

地域への協力等を子どもにも体験させることができない	12
自治会がないが、できれば加入したい	12
地域行事に参加しづらい	10
転居したてで、わからない	1
その他未記入等	1

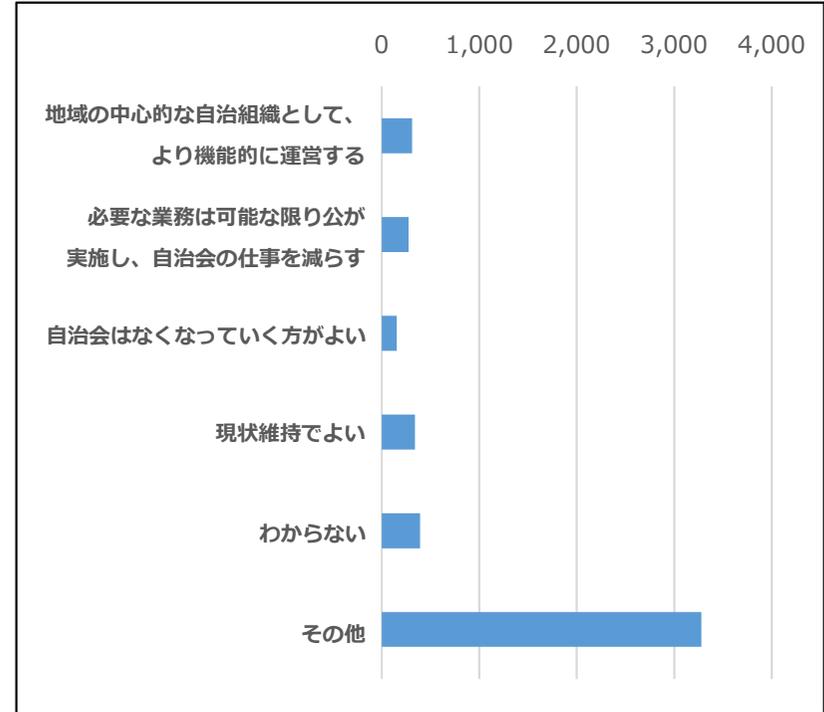


(複数選択可)

Q13	自治会は今後どのようなになればよいと思うか、選択してください。	回答数	割合
	地域の中核的な自治組織として、より機能的に運営する	314	6.59%
	必要な業務は可能な限り公が実施し、自治会の仕事を減らす	277	5.82%
	自治会はなくなっていく方がよい	156	3.28%
	現状維持でよい	343	7.20%
	わからない	394	8.27%
	その他	3,279	68.84%
	総計	4,763	100.00%

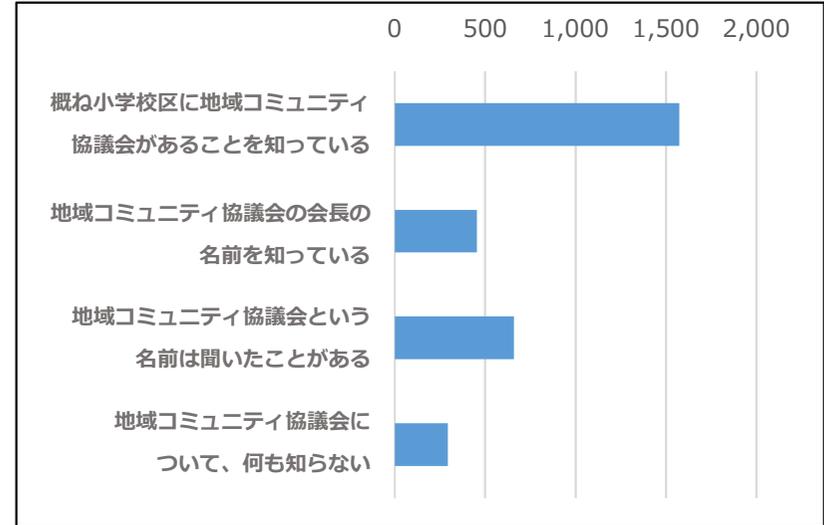
(その他の内訳)

新規加入者や若者が理解しがたい仕事や不要な仕事をなくす方向で見直し、自治会の仕事が負担にならないようにする	830
自治会という形にこだわらず、新しい社会システムの構築や新しい形に変える必要がある	480
加入していなくてもゴミ管理等生活に必要なサービスを受けられるようにする	376
自治会の統合やゴミ協との一体化など、自治会組織を再編する	276
役員の負担を減らすとともに、任期を設ける	238
地域にとっての未来に繋がる取組みを明確にする	233
自治会が必要なところのみ残していく	232
災害時の村八分的な考えを撤廃しなければならない	199
自治会制度を廃止し、ゴミ管理は業者委託等、別の方法をとる	134
高齢化により会の存続が不安であり、若手での運営が必要	134
管理組合を自治会組織を兼ねたものに移行させたい方向	56
情報公開を徹底する(会計の透明化、他自治会との情報共有)	52
自治会自体がどうしたいのかを検討する必要がある	38
その他未記入等	1



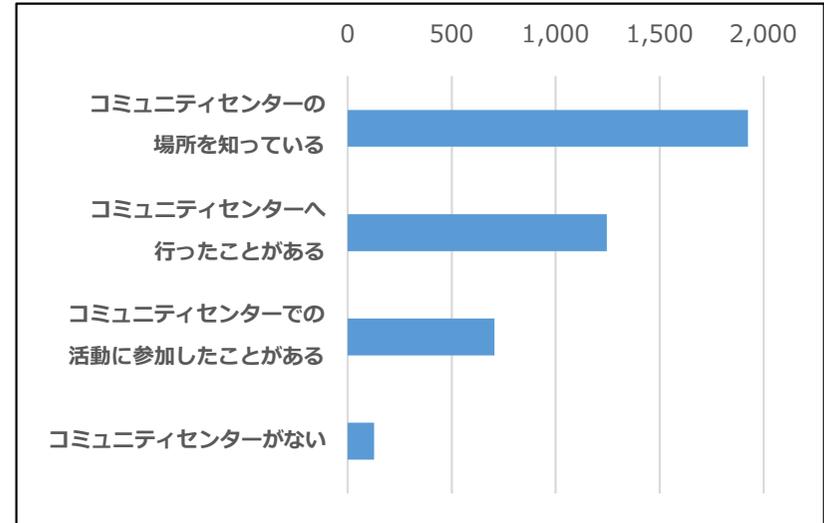
(複数選択可)

Q14	「地域コミュニティ協議会」に関して、あてはまるものを選択してください。		
	選択肢	回答数	割合
	概ね小学校区に地域コミュニティ協議会があることを知っている	1,574	52.78%
	地域コミュニティ協議会の会長の名前を知っている	455	15.26%
	地域コミュニティ協議会という名前は聞いたことがある	659	22.10%
	地域コミュニティ協議会について、何も知らない	294	9.86%
	総計	2,982	100.00%

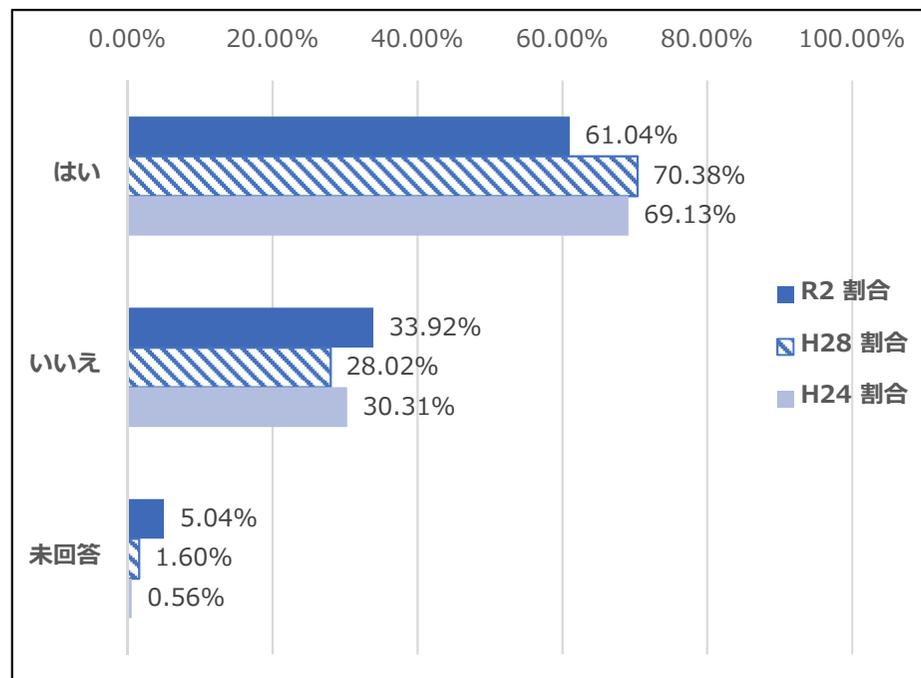
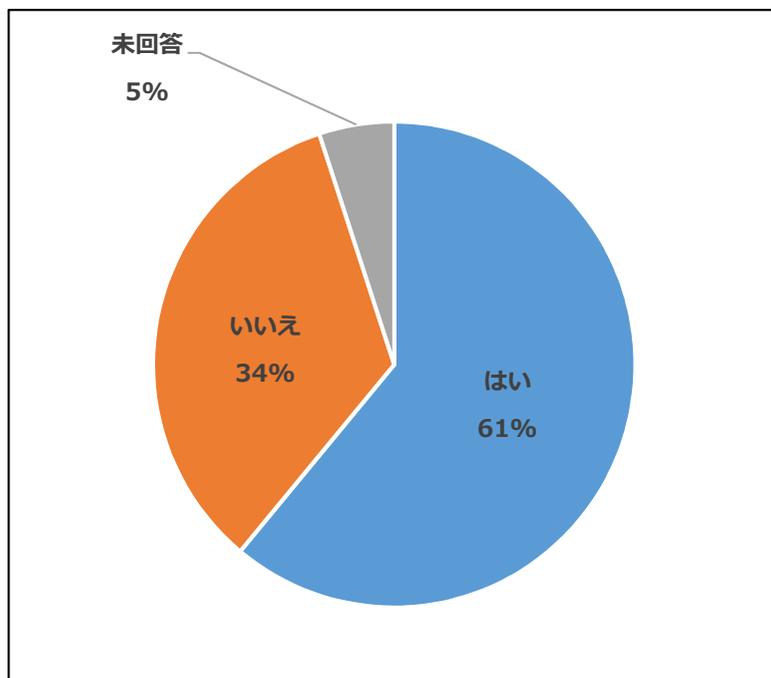


(複数選択可)

Q15	お住まいの地域のコミュニティセンターに関して、あてはまるものを選択してください。		
	選択肢	回答数	割合
	コミュニティセンターの場所を知っている	1,926	48.07%
	コミュニティセンターへ行ったことがある	1,247	31.12%
	コミュニティセンターでの活動に参加したことがある	706	17.62%
	コミュニティセンターがない	128	3.19%
	総計	4,007	100.00%

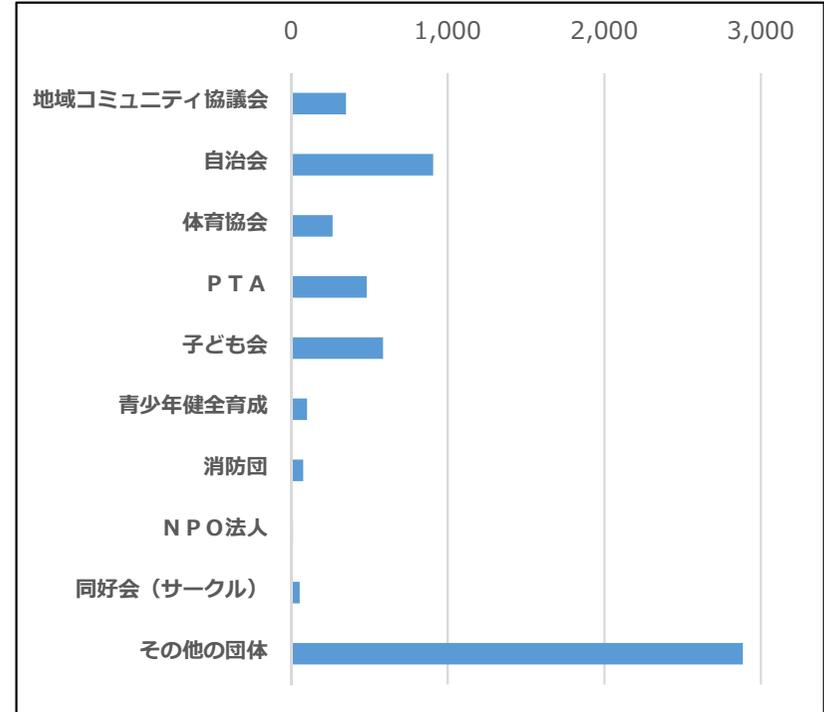


Q16	地域の活動に参加したことがありますか？	参考					
		H28年度		H24年度			
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
選択肢							
はい		1,479	61.04%	2,238	70.38%	2,098	69.13%
いいえ		822	33.92%	891	28.02%	920	30.31%
未回答		122	5.04%	51	1.60%	17	0.56%
総計		2,423	100.00%	3,180	100.00%	3,035	100.00%



(複数選択可)

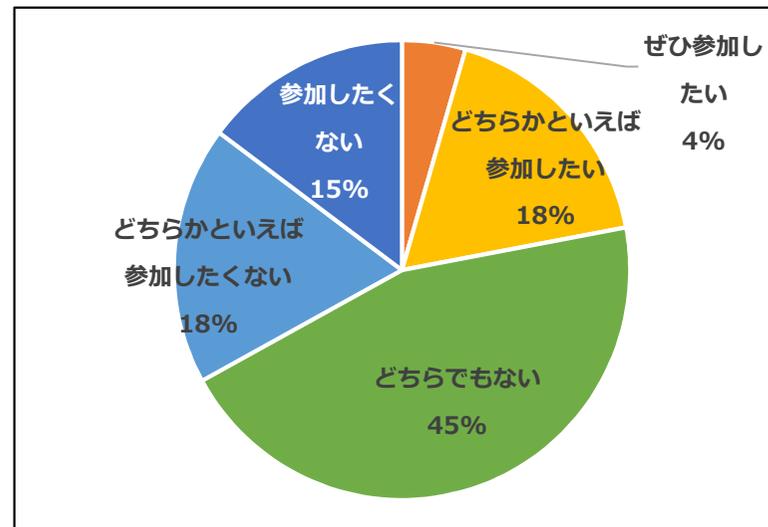
Q17	(参加したことのある方) 活動に参加したことのある団体を 選択してください。		
	選択肢	回答数	割合
	地域コミュニティ協議会	351	6.13%
	自治会	907	15.84%
	体育協会	266	4.64%
	P T A	484	8.45%
	子ども会	588	10.27%
	青少年健全育成	101	1.76%
	消防団	77	1.34%
	N P O法人	13	0.23%
	同好会 (サークル)	54	0.94%
	その他の団体	2,886	50.40%
	総計	5,727	100.00%



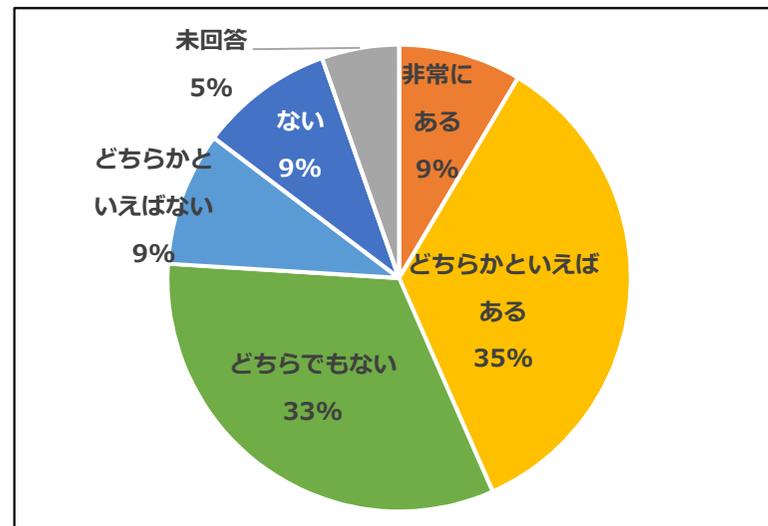
(その他の内訳)

各種行事実行委員会等 (夏祭り、運動会、獅子舞、餅つき等)	1,159
衛生組合 (地区の清掃活動等を含む)	712
自主防災組織 (防災訓練への参加を含む)	340
スポーツ少年団	187
神社	167
学校開放	104
婦人会	50
青年団体	46
交通安全母の会	44
公園愛護会	26
文化協会	23
地域安全パトロール	19
保健委員会	2
その他未記入等	7

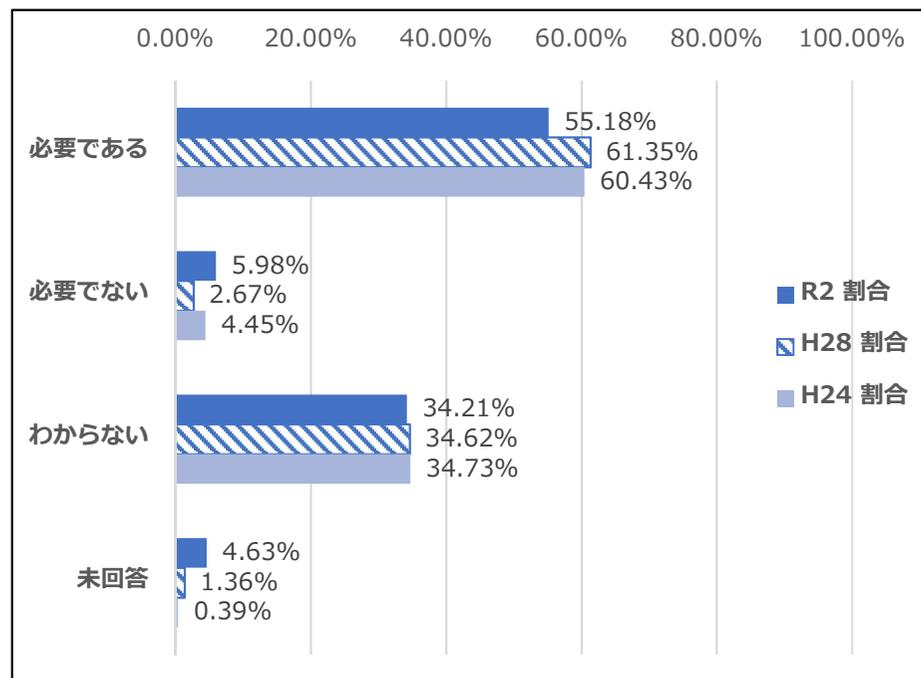
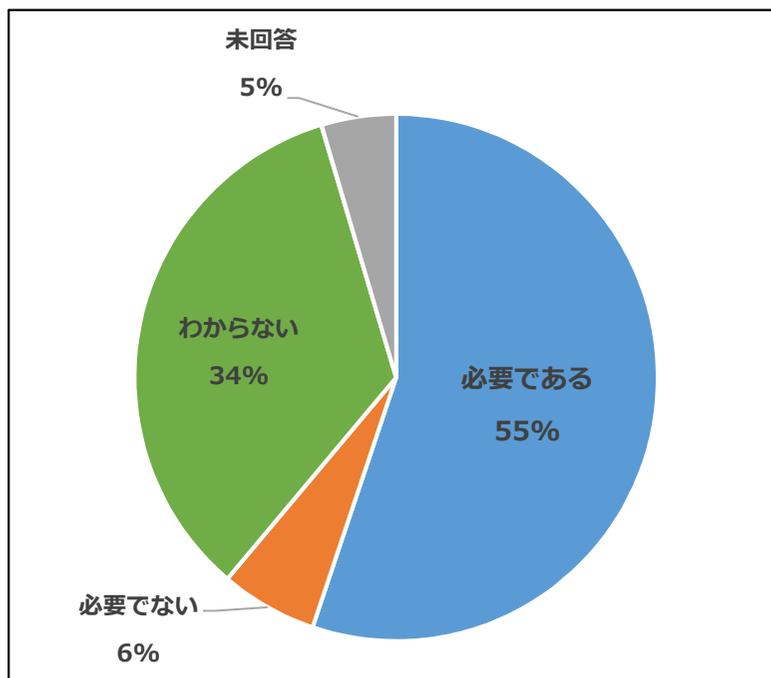
Q18 (参加したことのない方) 今後、地域の活動に、機会があれば参加したいと思いますか？		回答数	割合
選択肢		回答数	割合
ぜひ参加したい		53	4.51%
どちらかといえば参加したい		206	17.52%
どちらでもない		529	44.98%
どちらかといえば参加したくない		214	18.20%
参加したくない		174	14.79%
総計		1,176	100.00%



Q19 今後、市の職員が地域の一員として、積極的に地域活動に関わる必要はあると思いますか？		回答数	割合
選択肢		回答数	割合
非常にある		208	8.58%
どちらかといえばある		843	34.79%
どちらでもない		790	32.60%
どちらかといえばない		225	9.29%
ない		226	9.33%
未回答		131	5.41%
総計		2,423	100.00%



Q20	高松市の施策・事業を推進していく上で、市民活動団体や地域コミュニティ協議会との「協働」についてどう思いますか？	参考					
				H28年度		H24年度	
		選択肢	回答数	割合	回答数	割合	回答数
	必要である	1,337	55.18%	1,951	61.35%	1,834	60.43%
	必要でない	145	5.98%	85	2.67%	135	4.45%
	わからない	829	34.21%	1,101	34.62%	1,054	34.73%
	未回答	112	4.63%	43	1.36%	12	0.39%
	総計	2,423	100.00%	3,180	100.00%	3,035	100.00%

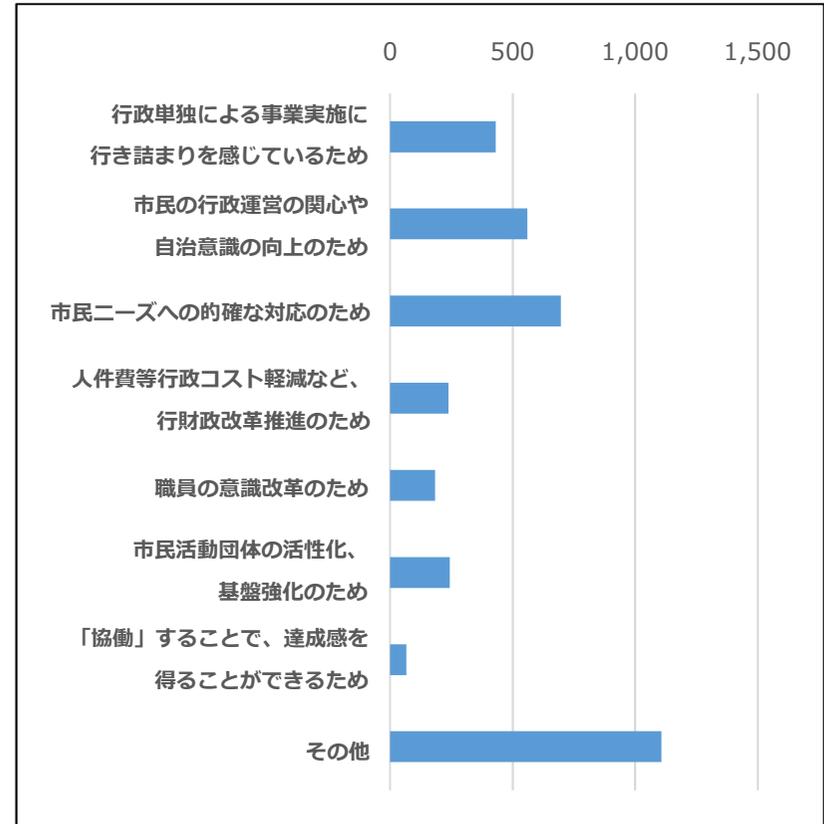


(複数選択可)

Q21	(Q20を「必要である」と回答した方)「協働」がどうして「必要である」と思ったのか、選択してください。	
	選択肢	割合
	行政単独による事業実施に行き詰まりを感じているため	12.24%
	市民の行政運営の関心や自治意識の向上のため	15.87%
	市民ニーズへの的確な対応のため	19.76%
	人件費等行政コスト軽減など、行財政改革推進のため	6.75%
	職員の意識改革のため	5.22%
	市民活動団体の活性化、基盤強化のため	6.92%
	「協働」することで、達成感を得ることができるため	1.87%
	その他	31.37%
	総計	100.00%

(その他の内訳)

地域に交じって活動しなければ、本当の市民ニーズ、考え方を理解することができないし、行政の不要な事業を理解することができないため	266
自助・共助・公助のベストミックス(機能の再配分)が必要であるため	205
地域ごと(過疎地域等)の特性があるため	169
共助により果たされるべき分野の持続可能性を高めるため	143
地域でしか解決できない問題があるため	117
行政主導でなく、地域による主体的なまちづくりを行う必要があるため	111
本来市民主体ですべきことは、「協働」で実施することが適切であるため	51
高松市の福祉を向上させるための社会資源として必要であるため	35
その他未記入等	10

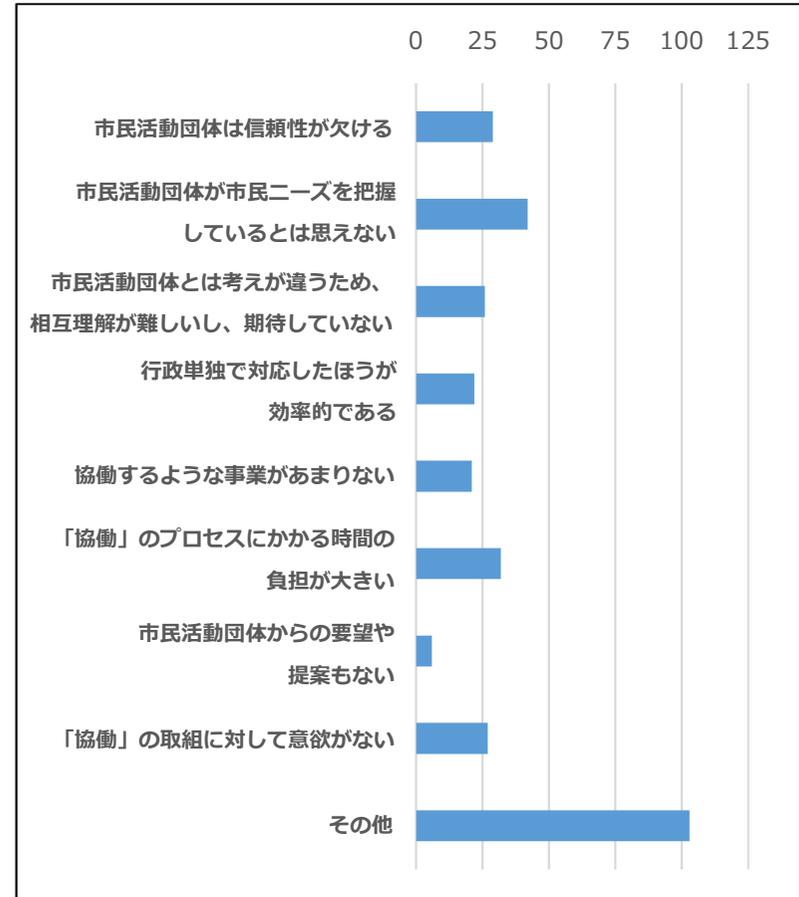


(複数選択可)

Q22	(Q20を「必要でない」と回答した方)「協働」がどうして「必要でない」と思ったのか、選択してください。	回答数	割合
	選択肢		
	市民活動団体は信頼性が欠ける	29	9.42%
	市民活動団体が市民ニーズを把握しているとは思えない	42	13.64%
	市民活動団体とは考えが違うため、相互理解が難しいし、期待していない	26	8.44%
	行政単独で対応したほうが効率的である	22	7.14%
	協働するような事業があまりない	21	6.82%
	「協働」のプロセスにかかる時間の負担が大きい	32	10.39%
	市民活動団体からの要望や提案もない	6	1.95%
	「協働」の取組に対して意欲がない	27	8.77%
	その他	103	33.44%
	総計	308	100.00%

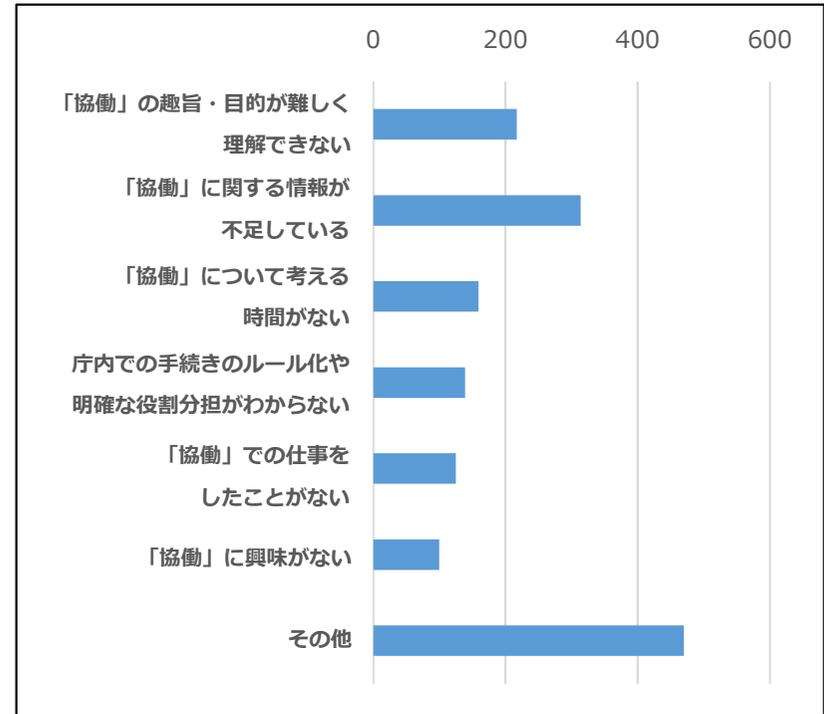
(その他の内訳)

自主活動のうちはいいが、義務化されたら職員の負担となるのではないか	33
地域コミュニティの活動の継続は難しくなっており、縮小するしかない	29
地域で(近所の人を巻き込んで)という考えが今の時代のニーズにそぐわない、各家庭で個々にやりたいことをやればよい	17
地域活動のために市税が使われているが、地域活動に積極的な方のみが恩恵を受けている	13
自主活動が必要である	10
その他未記入等	1



(複数選択可)

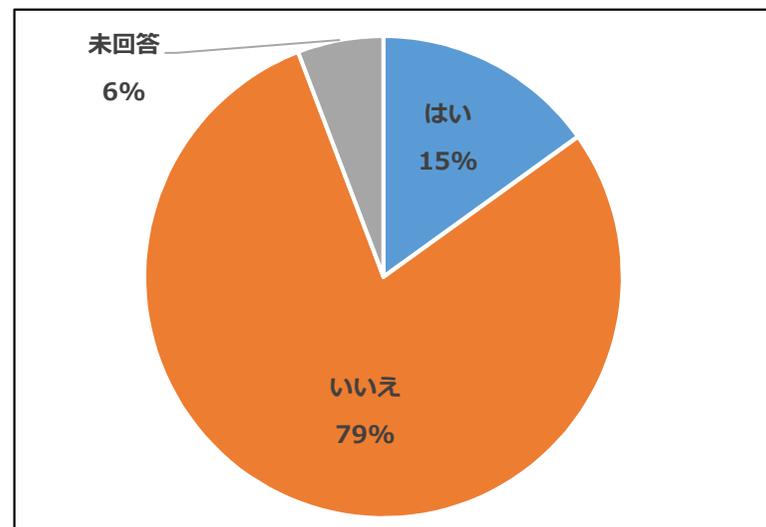
Q23	(Q20を「わからない」と回答した方)「協働」の推進について、ということが「わからない」のか、選択してください。	回答数	割合
	選択肢		
	「協働」の趣旨・目的が難しく理解できない	217	14.24%
	「協働」に関する情報が不足している	314	20.60%
	「協働」について考える時間がない	159	10.43%
	庁内での手続きのルール化や明確な役割分担がわからない	139	9.12%
	「協働」での仕事をしたことがない	125	8.20%
	「協働」に興味がない	100	6.56%
	その他	470	30.84%
	総計	1,524	100.00%



(その他の内訳)

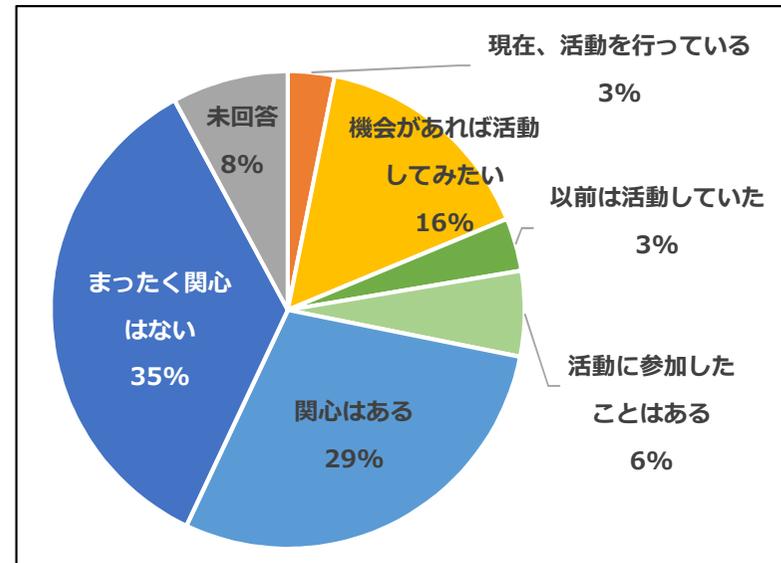
市と地域の協働に対する考え方に乖離がある	285
市民活動団体が具体的に何かわからない	46
「協働」はあくまで手段なので、したいことや目的によって使うべきかそうでないかが変化することから、一概に必要なかそうでないかは判断できない	35
行政と住民団体の利害関係はそもそも完全一致しないため、お互い都合よく利用出来ているうちはいいが、そうでなくなったら関係維持がしんどい	31
わからない	30
協働することが市の目的に沿わない事業もある	20
市外のため、市の市民活動団体や地域コミュニティ協議会について考えたことがない	20
その他未記入等	3

Q 2 4	市民活動団体の活動に参加したことはありますか？		
	選択肢	回答数	割合
	はい	366	15.11%
	いいえ	1,916	79.08%
	未回答	141	5.82%
	総計	2,423	100.00%



Q 2 5	(参加したことがある方) 参加した活動の分野を選択してください。					
	選択肢	回答数	割合	選択肢	回答数	割合
	保健、医療又は福祉の増進	51	6.99%	国際協力	9	1.23%
	社会教育の推進	33	4.52%	男女共同参画社会の形成の促進	9	1.23%
	まちづくりの推進	62	8.49%	子どもの健全育成	138	18.90%
	観光の振興	32	4.38%	情報化社会の発展	3	0.41%
	農山漁村又は中山間地域の振興	17	2.33%	科学技術の振興	2	0.27%
	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	97	13.29%	経済活動の活性化	4	0.55%
	環境の保全	87	11.92%	職業能力の開発又は雇用機会の拡充支援	2	0.27%
	災害救援	77	10.55%	消費者の保護	4	0.55%
	地域安全	71	9.73%	上記活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助	9	1.24%
	人権の擁護又は平和の推進	23	3.15%			
	総計				730	100.00%

Q26	市民活動団体の活動に対する関心は、どの程度ありますか？	
選択肢	回答数	割合
現在、活動を行っている	77	3.18%
機会があれば活動してみたい	378	15.60%
以前は活動していた	87	3.59%
活動に参加したことはある	140	5.78%
関心はある	700	28.89%
まったく関心はない	849	35.04%
未回答	192	7.92%
総計	2,423	100.00%



Q27	自治会、地域コミュニティ協議会、協働、市民活動団体について、自由に御意見をお書きください。
-----	---

(自治会関係)

- ・ 仕事と育児で忙しく、参加したい気持ちはあるが難しい。
- ・ 都市部での自治会は存在価値が低くなっているが、過疎地域ではまだ価値を有していると思われる。地域に見合った支援・補助を自治会を通じて設けることで、地域に必要な支援を届けることができればよいと思われる。
- ・ 実施主体に高齢化が進んでおり、スピード感が不足している。他方、高齢者以外の参加者は敬遠しがちで改善につながらず、そのまま進んでいる。地域内の問題事が明確になる等契機がなければこのまま進んでいくと思われる。比較的若者が多いマンションの自治会加入促進及び、地域に渡すお金を増やし、関わらないと損をする仕組みの構築が必要と考える。
- ・ 自治会等に加入していなくても地域の行事に参加できたり、地域の情報が共有できるような仕組みがあればよいと思う。今の時代、会費を負担してまで所属する価値が見いだせないように感じる。
- ・ 新型コロナウイルス感染予防のため、会議や行事が自治会活動においても、なくなったが、正直なところ、これまで本当に必要な行事や会議だったのか、無理やり実績や補助金をつくるがために活動をせざるを得なかったのか、と考えさせられる。必要なことや、希望者主体の活動にすれば、自治会活動への負担が軽減され、みんなが加入しやすいと考える。
- ・ 自治会費が高いのは困る。現在マンションに住んでいて、共益費を毎月支出しているので、その上、自治会費も負担しなければならないとなると、負担が多すぎて加入できない。
- ・ 自治会に入っている人からは、「ゴミ出しのためにしょうがなく入っている」「面倒くさい」などの話を聞いて、マイナスなイメージがあるように感じる。高齢者や子育て世帯など社会から孤立しがちな人々には同じ地域で暮らす身近な人たちと交流できる場として良いと思うが、ご近所関係が希薄化している若者や賃貸で暮らす人にとっては、魅力を感じず、加入する人も少ないのではないかと思う。
- ・ 近年、自治会員の脱会が相次ぎ、役員を選出が困難になりつつある。また、市から依頼される業務が高齢の役員の負担になり、役員就任の忌避や脱会の要因となっている。清掃活動等の地域活動を実施しても参加するメンバーはいつも同じで、それも高齢化により人数が確保できなくなりつつある。
- ・ 現在、過疎化が進み自治会の会員数も減少し自治会活動に支障が出てきており、新たな会員も望めないため、今後の活動継続が困難となっている。
- ・ 自治会でもなんでも、古い人と新たに来た人が自己主張ばかりせず、共に住みよい地域にしようという歩み寄りの気持ちを持つことができればうまくいくと思う。
- ・ 今後ますます単身世帯が増えるため、防災等を考えれば、自治会を始めとした地域活動が広がるのが理想であるが、個を重視する価値観のほうが進んでいるため、自主参加の増や自治会加入の増を期待するのは非現実的な気がする。市民活動を行う必要性や自治会加入のメリットが感じにくい。
- ・ 若年層に自治会のメリットを発信していくのはどうか。自治会のチラシを学校を通じてもらってくるだけでは、認識度は高まらないと思う。SNSの発信や自治会に加入するとポイントがもらえるなどの目に見えるメリットがあればいいと感じる。
- ・ 子どもがいる場合、自治会があれば近所の方とのつながりができ、安心できる部分もあるため、今後も何らかの形で自治会に関わりたいと思う。
- ・ 子育て世帯は、子ども会活動などで地域と関わる機会があるが、若者はなかなか入りづらく、また、興味関心のある事業が見当たらないのだと感じる。現在は、賃貸アパートで近所付き合いがないため、防災時の助け合いに不安がある。

Q27	自治会、地域コミュニティ協議会、協働、市民活動団体について、自由に御意見をお書きください。
-----	---

(地域コミュニティ協議会関係)

- ・ 住民のニーズが多様化し、行政がカバーできることも限界があることから、住民の自主性を促す意味からも地域コミュニティが活発になることが必要である。
- ・ 各コミュニティ関係者は活動等を理解しているが、地域に住んでいる人が自治会、地域コミュニティ協議会の活動をどれだけ理解しているか。地域にマッチしたコミュニティとの協働であれば、地域に住んでいる人全員に理解を求める仕組みづくりが大切だと思う。
- ・ 行政からの地域コミュニティ協議会への依頼が過剰になっているように感じている。行政がすべきこと、地域がする方が望ましいことを十分整理する必要があると思う。また、自治会や地域コミュニティ協議会の自主性を尊重し、やる気のある地域が実施するような手法が大事だと思う。
- ・ 超高齢社会となり自治会のつながりは大切であるが、運営が困難となっている。もし、若者が入会するとその若者に負担がのしかかる。そのため若者が入会しない。悪循環になっている。地域コミュニティ協議会は、老若男女揃っているなので、それぞれの団体を取りまとめ、自治会に成り代わっていくべきなのではないかと思う。
- ・ 高齢化社会が加速化する中、地域コミュニティが果たす役割は大きいと考える。血縁ではなく地縁によるセーフティネットに頼らざるを得ない社会になっていると思う。
- ・ これまで地域活動を支えてくれた世代と、これから担っていく世代は、生活スタイル（共働き、単身、ITやSNSを使う等）が違うので、地域活動に求めるものや興味、引き受けられる役割も異なっていると思う。それを理解し合ったり、間を埋められるような繋がりや機会がもっとあればいいと思う。
- ・ 自治会、地域コミュニティ等々、高齢化が著しく、若い人の参加、働き盛りの年代の参加はほとんどないように思う。自分の住む地域に愛着はあっても、そこに参加して盛り上げていこうという意識は無くなってきているように感じる。夏祭りや地域のイベントには参加するが、企画段階から参加する人は限られている現状がある。興味をもった人が集まって取り組んでいく体制づくりをしていきたいが、難しい。
- ・ わが子の小学校でのPTA役員に加入している。その中で、地域との強いつながりを感じ、小学校の子ども達が健やかに安全に過ごせるためには、地域の力が大きいと常々感じていた。地域が活性化することで、子ども達もいきいきと成長できると思うので、これからも地域の行事や活動には積極的に参加して、よさを多くの住民に知らせていってほしいと思う。
- ・ どの団体にしても、それをまとめていく人材は限られ、同じ人がいろんな団体を兼務してやっているのが現状なので、なかなか新しいことに取り組むのは難しいと思う。
- ・ 地域ごとに状況が異なるので、他地域のことはわからないが、多くの団体や活動は、これまでの前例踏襲主義で進んできていると思う。このような中、コロナ禍において、必要なもの、不必要なものなどがわかってきていると思われるので、再編等を行うチャンスと考える。

※自由意見 255 件のうち、主な意見を抜粋しています。

Q27	自治会、地域コミュニティ協議会、協働、市民活動団体について、自由に御意見をお書きください。
-----	---

(協働関係)

- ・ 地域自治の考え方は、とても重要であると思うため、行政との協働は、永続的に取り組んでいくべきであるとする。
- ・ 市民の考え方が、地域に係わらなくても、特に生活に支障があるわけではないというような意識になっているのではないか。市民のニーズに合うような活動であれば、参加してみようかと思う気持ちになるかもしれない。協働という言葉で市民に活動を押し付けても、反発されるのではないかと。市民が必要と思うことには参加していただけたらと思う。
- ・ 災害とも言える新型コロナウイルス感染症の拡大によって、人と人が触れ合い交流することの大切さや必要性を痛感した人も多いはず。コロナ終息後、こうした経験や視点も参考に、コミュニティと協働を押し進めることができないだろうか。
- ・ 地域の力無しではこれから先の行政運営はもっと厳しい状況になる。行政の取組の中でも、地域に必要な活動について、住民が行政から「押し付けられた」と感じないような手法、興味関心から生まれるまちづくり、ワクワク感ややりがいとを感じるような活動を皆で考え、それを庁内全体で共有し、地域との協働を進めていく必要がある。地域との協働の前に、行政内部の協働も危ういと思う事もある。
- ・ 協働に対する職員意識の向上が必要と感じている。
- ・ 地域との協働についてはよくわからない。何故、協働が必要なのか、また、地域にとってなにがメリットなのか、具体例を挙げて明確にしてほしい。

※自由意見 255 件のうち、主な意見を抜粋しています。

Q27	自治会、地域コミュニティ協議会、協働、市民活動団体について、自由に御意見をお書きください。
-----	---

(市民活動団体関係)

- ・ 今後、高齢者も含めて、個々のニーズの多様化やインターネットを介したコミュニケーションの割合増加が確実な中、「地縁」を基盤とする団体よりも、「テーマ」を基盤とし行政との親和性も高い団体との協働に軸足を置いた方がよいように思う。
- ・ 市民活動団体については、活動に参加したこともあるが、行政への依存度が高いと感じた。

※自由意見255件のうち、主な意見を抜粋しています。

Q27	自治会、地域コミュニティ協議会、協働、市民活動団体について、自由に御意見をお書きください。
-----	---

(その他)

- ・ 関心がある人とそうでない人の温度差が激しいことが課題であると思う。
- ・ 特に若年層は、代々の役割でない限り、よほど志が高くなければ、仕事や私生活を犠牲にしてまで関わることはできないと考える人が殆どであると思う。地域のことは自分たちのことだと考えられれば良いが、関わらなくても日常生活に支障はない上、基本的にボランティアなので、活動の中心は自営業の方や定職のない高齢者になり、ますます参加への敷居が高くなってしまふ。行政サービスが行き届きすぎているとも言え、自分たちでやらなければやってくれる人がいない状況を作るか、本末転倒になるが、活動への参加に対するインセンティブを相当高くするしかないのではないか。
- ・ 少子・超高齢化社会の到来により、地域活動に参加する人も減ってきている。そのため、少ない人材、経費で効果が期待できる活動が必要になっていると思うし、多くの人の賛同、参加を得るためにも、地域活動の必要性を行政からより強くアピールすることが重要と思う。
- ・ 高齢化している自治会に責任と仕事を持たせる方向にあるが、それを支援する役所の体制と職員の自覚がない。自覚をもって自治会等に参加するための知識もないことが多いので、職員全員に定期的に（順番に）研修を行って、参加意識を持たせることを行う必要がある。最終的には、何か問題があっても、他の誰かが解決してくれるのではなく、そこに住んでいる自分たちで解決しなければならないのであるから、できる事から自分たちでするようにしなければいけないと思う。（役所を頼りにしてはいけないということ認識する必要がある。）
- ・ それぞれ「地域性」にかなり違い（地域に対する意識や愛着度）があるので、その地域の特性ごとに今後について考えていく必要があると思う。必ずしもすべての地域や自治体が衰退していくわけではないと個人的には思っていて、今も次世代に繋げようと活発に頑張っている地域もある。そのような意識の高い地域を見本にしながら、地域ごとの社会資源を把握したうえで対策をしていくと良いと思う。
- ・ 地域の活動は、どうしても現職中は時間的にも余裕がなく、自分自身も退職後には地域に貢献したいと思う。
- ・ 土・日や夕方の勤務がある職場に所属しているため、これまで活動日時の調整が難しいことも多かった。今後は、様々な働き方をしている人が参加できる方法を考えていくことも必要だと思う。
- ・ ワークライフバランスを考える上で、仕事なのか、どうなのかが曖昧で、スッキリしない。
- ・ 地域の行事等に参加すると、「我々の税金で給料をもらっているのだから役所の人間は住民のために働いて当然」という考えの住民地域（コミュニティ幹部）がまだまだ多くいる。地域の活性化のためには行政と地域の真の意味での連携が必要であることを双方が理解することが重要だと思う。
- ・ プライベートは自分の時間として使いたい。わずらわしい活動を増やしたくない。地域密着型の考え方は古いのではないか。時代に即していないと考える。
- ・ 市職員だから地域活動をするという意識ではなく、地域で暮らしているから地域活動をする意識が重要と思う。
- ・ 行政の業務自体が、「まちづくり」そのものであるから、職員が率先して地域活動に参加し、行政と地域とのパイプ役となって、地域や市民活動団体等の活性化を図っていくことは、当然のことであると思う。